



感染性胃腸炎の予防 手をよく洗いましょう！

平成 30 年 11 月 7 日
 富山県感染症情報センター
 (0766-56-5431 直通)
 (0766-56-8142 細菌部)
 (0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

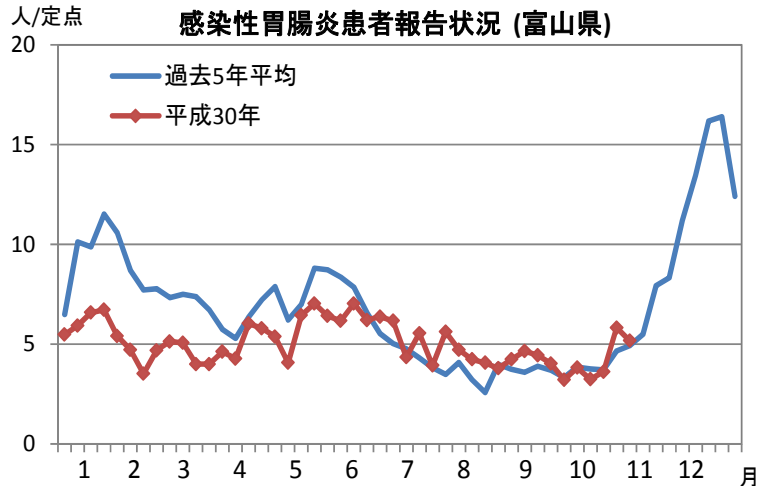
(平成 30 年第 44 週分・10 月 29 日～11 月 4 日)

《 インフォメーション 》

● 感染性胃腸炎

今週、感染性胃腸炎の報告数は定点医療機関あたり 5.17 人でした。感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体によるおう吐、下痢を主症状とする感染症の総称です。原因はウイルス感染（ノロウイルス、ロタウイルスなど）が多く、毎年秋から冬にかけて流行します（図参照）。

冬季に発生する感染性胃腸炎のうち、特に集団発生の多くはノロウイルスによるものと推測されており、高齢者施設や保育所等での集団感染や、飲食店等での食中毒には特に気をつける必要があります。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸管で増殖して、おう吐、下痢、腹痛などの症状を引き起こします。患者の便や吐ぶつには大量のウイルスが存在するため、感染を広げないよう適切に処理する必要があります。また、症状が無くてもウイルスを排出している場合もあります。感染予防の基本は**手をよく洗うことです**。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- ふん便や吐ぶつは、マスク・手袋を着用し塩素系消毒剤等で処理し、感染を広げない。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が 85℃～90℃で 90 秒以上)して食べましょう。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 6 件 (①第 40 週診断分：50 歳代 ②第 43 週診断分：70 歳代
 ③20 歳代 ④50 歳代 ⑤70 歳代 ⑥80 歳代 ①～⑥すべて男性)
- 四類感染症 つつが虫病 1 件 (80 歳代、男性)
 レジオネラ症 2 件 (①②ともに 60 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件 (第 43 週診断分：80 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	5.17 (↓)	5.83
2 位	RSウイルス感染症	2.31 (↑)	2.10
3 位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24 (↑)	1.03
4 位	ヘルパンギーナ	0.62 (↓)	0.83
5 位	咽頭結膜熱	0.55 (↑)	0.45
6 位	手足口病	0.41 (↓)	0.76

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
 アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第44週 平成30年10月29日～平成30年11月4日）

分類	疾患	今週報告分（第44週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		3	4	9	13	50	18	81	171
三類感染症	細菌性赤痢										1		1
	腸管出血性大腸菌感染症							3	4	4	3	11	25
	パラチフス											1	1
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3
	A型肝炎											4	4
	つつが虫病	1					1	2				1	3
	デング熱										3		3
	レジオネラ症	1				1	2	4	1	8	4	22	39
五類感染症	アメーバ赤痢										1	1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4		10	14
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							2		1	1	2	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	6	2	6	19
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		2		1	5
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	8	4	16	32
	水痘（入院例）							2		2		3	7
	梅毒									1		12	13
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳										9	12	21
	風しん									4	1	4	9
	定点疾病 (下段は定点点当りの患者数を示す)	インフルエンザ			1	2	4	7	2,232	1,824	3,491	2,451	5,364
				0.08	0.29	0.25	0.15						
RSウイルス感染症		3	1	24	5	34	67	67	40	260	102	655	1,124
		0.75	0.33	3.00	1.25	3.40	2.31						
咽頭結膜熱		2		5	2	7	16	226	78	258	33	306	901
		0.50		0.63	0.50	0.70	0.55						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	11		22	36	160	118	556	216	810	1,860
		0.25	0.67	1.38		2.20	1.24						
感染性胃腸炎		23	18	34	3	72	150	1,200	819	1,301	230	2,884	6,434
		5.75	6.00	4.25	0.75	7.20	5.17						
水痘		1		1		2	4	22	6	94	59	111	292
		0.25		0.13		0.20	0.14						
手足口病				3	7	2	12	11	13	111	115	126	376
				0.38	1.75	0.20	0.41						
伝染性紅斑			1			3	4	7	3	92	44	45	191
			0.33			0.30	0.14						
突発性発しん		2	3	4	1	11		57	46	202	50	151	506
		0.50	1.00	0.50	0.25	0.10	0.38						
ヘルパンギーナ		5	6	4	2	1	18	117	112	326	103	284	942
		1.25	2.00	0.50	0.50	0.10	0.62						
流行性耳下腺炎					1	1	5	11	22	4	40	82	
					0.10	0.03							
急性出血性結膜炎									2	14	1	17	
流行性角結膜炎			1			1	2	18	19	4	6	49	
			0.50			0.14							
細菌性髄膜炎												5	5
無菌性髄膜炎												2	2
マイコプラズマ肺炎	1					1	7	4	6	6	11	34	
	1.00					0.20							
クラミジア肺炎										1	3	4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）										1			1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。